

2005年 8 月30日

総合科学技術会議 第10回基本政策専門調査会
論点に関するコメント

社団法人 経 済 同 友 会
代表幹事 北城格太郎

1. 政府研究開発投資の戦略的重点化にあたっては、「わが国の発展にとって重要な分野は何か」という議論と、「政府研究開発投資を重点化すべき分野は何か」という議論は区別して考える必要がある。重要分野の中には、民間の力だけで推進することは難しく、政府資金の投入が戦略的に必要な領域（ビックサイエンスなど）がある一方、商業化が見込まれ、民間の力を十分活かせる領域もあるからである。その意味で、官民の役割分担、プロジェクトの投資サイクル、具体的な実現目標などを十分踏まえながら、政府資金の重点投資対象を検討することに賛成である。
2. 政府研究開発投資の政策効果を十分発揮させるためには、研究開発の成果だけでなく、規制緩和や新事業創造促進のための税制など実用化・事業化に向けた環境整備も十分視野に入れるべきである。こうした制度面の課題も解決していかなければ、多額の資金を投入しても期待した効果を挙げることができない恐れがある。
3. また、研究開発を行う側のニーズだけで対象領域を設定するのではなく、研究開発で生み出された成果を利用する側のニーズや国としての政策の方向性を十分踏まえることが必要である。「何を実現するためにその研究開発が必要なのか」という観点が不明確では、真に国際競争力の強化に資する領域を絞り込むことはできない。

以上